

女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク



【相談窓口】=配偶者暴力相談支援センター(本庁子育て支援課内) ☎(20)6343(直通) 【受付時間】=8時30分~17時 *土・日曜日、祝日は除く

DV、性犯罪、人身取引、セクシュアルハラスメントなど、女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するものです。暴力は、いかなる理由があるうとも決して許されるものではありません。

男女共同参画情報コーナー



~一人一人が幸せを実感できるまちへ~

【編集】=「とらいあぐる」編集員

【問合せ先】=本庁企画政策部 コミュニティ課 男女共同参画グループ ☎(23)5111(内線4612)

12月4日(日)~10日(土)は **人権週間**です



(人権イメージキャラクター) 人KENまもる君 人KENあゆみちゃん

考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認め合う心

あなたの考える「人権」って、どのようなものですか。一人一人が人として幸せに生きるために、私たちは何をすべきなのか。この機会に、「思いやりの心」「かけがえのない命」について、もう一度考えてみませんか。



国は、世界人権宣言が昭和23年12月10日の国連総会において採択されたことを記念して、昭和24年から、毎年12月10日を最終日とする1週間を「人権週間」と定めています。この期間中、

世界人権宣言の趣旨およびその重要性を、広く国民に訴えかけるとともに、人権尊重思想の普及・高揚を図るため、各種啓発活動が行われます。

「人権の世紀」といわれる 21世紀に入り、 15年以上が経過しました

この間、法務省の人権擁護機関は、人権尊重思想の普及・高揚のため、人権擁護活動に積極的に取り組んできました。しかし、いまだに物質的な豊かさの追求に重きを置き、心の豊かさが大切にされない風潮や、自己の権利のみを主張する傾向が見受けられるのも事実です。このような状況が、さまざまな人権侵害を発生させる大きな要因

一人で悩まないでまずは相談を

11月12日(土)~25日(金)の2週間

「女性に対する暴力をなくす運動」週間

「DV」は自分には関係ないと思ってしまう。平成26年度の内閣府の調査では女性の4人に1人、男性の6人に1人が、配偶者から何らかの暴力を受けたことがあり、うち被害を受けた女性の9人に1人は、命の危険を感じたことがあると回答しています。

大切な家族や友だちを被害者や加害者にならないために、DVを身近な問題として捉えることが大切です。 *DVとは、配偶者や恋人など親密な関係にある人、または過去に関係があった人からの暴力による支配のことをいいます。

「パープルリボン運動」とは?



「パープルリボン運動」は、女性に対する暴力根絶運動として、1994年にアメリカで始まりました。現在、40カ国以上の国々に広がり、国際的なネットワークに発展しています。パープルリボンには「あなた一人ではないよ」というメッセージが込められています。ここでは、本市内で展開しているグループを紹介いたします。

の一つとなっています。

特に最近では、いじめや体罰、児童虐待などといった子どもに関する人権問題、インターネット上の誹謗中傷、プライバシー侵害といった人権問題に加え、特定の民族や国籍の人々を排斥する差別的言動、いわゆる「ヘイトスピーチ」などが社会的な関心を集めています。

本市では、平成26年6月に策定した「薩摩川内市人権教育・啓発基本計画」に基づき、より効果的な人権教育・啓発活動を展開しています。

これは、家庭・学校・地域・事業所など、あらゆる場における人権尊重の環境づくりのため、市や関係団体との横断的な連携を深めながら、社会全体で意識改革につなげていくことを目的としたものです。

子どもたちの取り組み

「人権の花運動」は、人権擁護委員などで構成する鹿児島県人権啓発活動地域ネットワーク協議会が、昭和60年から実施している啓発運動で、主に小学生を対象に実施校の指定を行っています。児童が種子や球根から花を栽培することで、協力や感謝することの大切さを学び、情操を豊かにし、ひいては人権思想を育むことを目的としています。本年度は、藤川小学校と上手小学校が同運動に取り組んでいます。

両校で育てたヒマワリはそれぞれたくさんの花を咲かせました



▲上手小学校



▲藤川小学校



▲藤川小学校での開会式(4月)

【問合せ先】=本庁市民課企画総務グループ ☎(23)5111(内線2561)

国際ソロプチミスト

鹿児島一川内

会長 芹ヶ野郁子氏

配偶者間やパートナー間のさまざまな暴力が問題になっています。私たちは、10年前から市・鹿児島純心女子大学・薩摩川内警察署などの協力をいただき、JR川内駅構内にDV撲滅を願うツリーを設置し、相談先が書かれたカードを配布しています。今年も11月25日(金)~12月25日(日)の間、駅改札口前に設置を計画しています。一緒にパープルリボンを結びながら、DVについて考え、撲滅を進めていきましょう。

薩摩川内市

ダイバーシティ研究会

会長 内野久子氏

私たちの研究会は、市女性チャレンジャー委員会第5期生が、2年間の任期満了を機に「活動の中で得た学びを地域に還元したい」と集まりました。主な活動の中に、パープルリボン運動があります。家庭や地域の中の暴力を無くし、被害者の安全を守りたいという意思表示として、このリボンをプロトタイプし、公的機関の窓口職員へ着用をお願いしました。また、DVや虐待防止の啓発用しおりも作成し、生涯学習フェスティバルなどのイベント時に3000枚を市民の皆さんに配布しました。男女共同参画の学びを柱に、今後も継続した取り組みを進めていきます。



▲設置セレモニーの様子



▲通学途中の思いを結び、思いを結ぶ活動の様子



▲各種イベントにおいて啓発活動を実施